

神奈川県立こども医療センターオレンジクラブ



ボランティアニュース

229号 2023年1月号

発行 神奈川県立こども医療センター オレンジクラブ事務局

編集責任者 ボランティアコーディネーター 加藤 悦興

〒232-8555 横浜市南区六ツ川 2-138-4 Tel. 045-711-2351 (代表)

ホームページ <https://orangeclub.kcmcvolunteer.com>

ブログ <https://blog.kcmcvolunteer.com>

病院の元気のためにボランティアさんの力をお貸しください

小児がんセンター長・外科医師 北河徳彦

皆さんこんにちは。今年度、医師の会会長を拝命している外科・小児がんセンターの北河です。常勤医として入職後 20 年が経ちました。旧棟だった入職時には現在のようなしっかりしたボランティア組織はまだなかったと記憶しており、300 名を超えるボランティアの方々が登録されている今のオレンジクラブを見ますと、まさに隔世の感を覚えます。

ボランティアの皆様のご活躍は、ロビーでのクリスマスツリーなどの飾りつけ、たくさんの本が詰まった移動本棚を押しておられる皆様と廊下ですれ違う時、外来受付で戸惑う新患さんにしゃがみこんで丁寧に案内されている時などに感じていました。今回、この原稿を書くにあたってオレンジクラブのホームページを拝見し、その活動範囲の広さを、恥ずかしながら知らなかったことに気づきました。なんと 28 項目もありました！ 言われてみれば確かに日頃目にしていた活動も多く、300 名余の登録会員さんが無償で病院を支えてくださっている事実に感動しました。皆様の活動で思うことは、ほとんどが手作りということです。つるし雛、手芸、音楽演奏、紙芝居など、病院内もデジタルが席卷する中でアナログな、暖かい心が伝わるものをこどもたちや親御さんに提供されていることが、昭和生まれの私としてはとても頼もしく感じます。

先月、医師の会から毎年恒例の寄付を、会員を代表してクリスマスツリーの前でお渡しさせていただきました。医師の会は会員医師の会費で運営されており、寄付は、医師からの感謝の気持ちです。毎年医師の会総会で可否を諮りますが、この寄付に異を唱える会員はおらず、会員医師の総意とお受け取りください。今後とも微力ながら応援させていただきます。

これからも病院の元気のために力をお貸しくださいますよう、よろしくお願いいたします。

最後に一つ宣伝です。毎年 2 月の国際小児がんデーに、当院小児がんセンターもイベントを開催しております。新型コロナの影響で、集合型のイベントは今年もかないままでしたが、特設ホームページを作って「小児がん応援団の紹介」などをする予定です。オレンジクラブはまさに小児が



ん応援団に相応しいと思い、昨年は特設ホームページで紹介させていただきました。

今年も 2 月 11 日から公開する予定ですので、皆様是非ご覧ください。その一環として院内音楽バンド「Swing for Kids」の生ライブ配信も 2 月 23 日午後に予定しています！こちらもご視聴いただければ嬉しいです。

「つばさの木」のお庭再生プロジェクト

日本オラクル ソーシャル・インパクト 川向緑

ご縁あるフィランソロピー協会さんから「神奈川県立こども医療センターの病院内にある肢体不自由児施設から見える庭が手入れされていなくて荒れている。高くなってしまった木の剪定や花壇づくりなど、支援いただけないだろうか」と、なんともざっくりしたご相談をメールでいただき、ぜひ支援したいので詳細をお聞かせくださいと返信したのが昨年 10 月のはじめでした。すぐにボランティアコーディネーターの加藤さん、つばさの木の生活支援課片岡さんと Zoom でお話し、状況を確認した上で、支援をお約束しました。

長く剪定されていない木に光を遮られて、雨にさらされて固く締まって花を植えるのも難しそうな土の庭、なにができるかわからないまま、社内の SNS で「できることから一緒に検討してくれるボランティアを募集します！」と声をかけると、「チェーンソーあります」「ガーデニング好きです」「ガーデニングなんてやったことないけど力仕事なら手伝えます」「自宅が遠いので、リモートでできることがあれば！」と、すぐに 9 名の社員が手を挙げてくれました。オラクルの強みは、それぞれ自分で考えてくれるボランティア社員たちです。有志で現地確認に行くと「このボロボロになっているバスケットゴールも新しくしたい」「子どもたちの意見を聞いて反映させたい」「子どもたちにもなにかの形で参加してもらいたい」と次々に意見が出て、その場で片岡さんに子どもたちへの希望アンケートをお願いしました。

「どんなお庭がいいかな」アンケートにあった「カラフルな庭」「虫が遊びに来るお庭」「季節ごとに咲く花々」「背の高いお花、小さなお花両方咲いてほしい」などの意見を参考に、社内で議論を続け、いくつかのイメージ画から高さの違う小さな花壇が集まったデザインを選んで進めることにしました。ゼロから花壇を作ったことがあるメンバーがいなかったため、安全性や機能性を考慮しつつ、みんなで DIY 系の YouTube を見まわったり、素敵な花壇を見つけたら写真にとって共有したりと、手探りで計画を進めました。

また、病院まで来られないボランティアは、子どもたちと一緒にできることを考え、石に絵を描くストーンアートの仕事をオンラインから実施。自宅で家族たちとテストを繰り返し、子どもたちが楽しく作業できるように工夫をしてくれました。



3 日間におよぶ現地作業でも円形の造成に苦労したり、なれない左官工事に戸惑ったり、作業予定日の天気予報に振り回されたり、土が足りなかったりと、たくさんの想定外のことが起こりましたが、無事に(?)花壇が完成しました。



作業中、何度も進捗を確認しに来てくれた子や、鉄骨をきる電気のこぎりの音が聞こえると顔をのぞかせてくれる子、二階から看護師さんと一緒に作業を見守る子、窓で仕切られているけれども、たくさんの子どもたちがこの花壇に期待をし



てくれていることがとても励みになりました。また、病院スタッフの中に左官歴60年の大ベテランがいらっしゃって、休憩時間を返上して教えていただいたこともとても楽しい思い出として残っています。

いろんな人の想いがつながってできた花壇。できるだけ明るい色のお花を選び、子どもたちが描いてくれたストーンアートも花壇を彩り、アンケートにあった「カラフルな庭」に少しでも近づけたでしょうか。季節が変わる頃に、またお花を植えにお邪魔したいです。

※「つばさの木」保育士 澤本明子※

今回、オラクルさんにはバスケットゴールと花壇を作って頂きました。バスケットゴールはプラスチック製の素敵なゴールに取り換えられ、しかも色違いで2つ、高さも高いものと低いものを工夫して取り付けて頂きました。お休みの日や学校の休み時間にも、こどもたちがバスケットゴールで遊ぶ姿が良く見られるようになり、とっても好評です。花壇も、かわいらしい形にレンガを組み上げて下さり、冬でありながら色とりどりのお花が咲いていて窓の外に見える景色が明るくなり、気持ちをとても和ませてくれます。花壇の周りにデコレーションしたストーンアートは、こどもたちやその保護者の方々にも楽しみながら作って頂き、イラストの他にもイニシャルを入れたりして、皆さんの心に残る作品になったと思います。さらにリスや小鳥が集えるように、木に巣箱まで設置してくださいました。暖かい気持ちをこんなに素敵な形で届けて下さったことに、本当に感謝しています。どうもありがとうございます！

ホスピタルクラウンの活動

ぴょん！初めまして、クラウンのミッチーです。今年1年楽しく良い年になりますように！

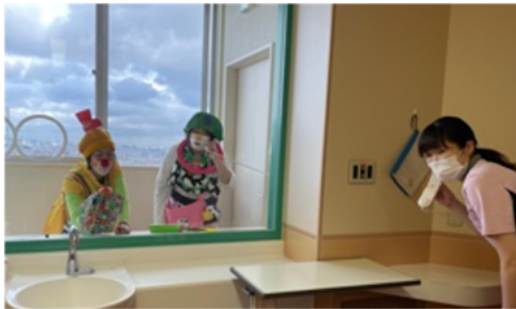
ホスピタル・クラウンの活動を理解していただき一緒に楽しんでくれて感謝しています。今回は11月15日に相棒のメッターと訪問させていただいたことについてお伝えしたいと思います。

今は外来とクリーンルームのベランダ、お庭から主に活動させていただきます。クリーンルームでは電話を使って「もしもし？」とお互いに照れながら見つめ合ってお話しをします。子ども達は魔法をかけるのがとても上手で「雨よ降れ〜」「爆発しろ〜」とかクラウンが思い付かないことをお願いしてくるので冷や汗をかきながら精一杯頑張っています！

子どもの豊かな発想に驚かされミッチーは弟子入りしたいくらいです〜。

病室のお友達とも遊べるようになる日を心待ちしています。

(ホスピタルクラウン ミッチー)



写真左は、
クリーン病棟病室から
見たクラウンさん。

写真右は、
ミッチーさん（右）と
メッターさん（左）

こんにちは！クラウンのメッターです。長く続いているコロナで、ずっと入院しているお友だちにお会いしたくて待っていました。クリーンのお友だちのところへ遊びに行けると聞いてドキドキと楽しみでいっぱいでした。当日はミッチーとメッターと一緒にボールジャグリング。失敗するたびにお友だちが突っ込んでくれて、いじわるがあると一緒に怒ったり、うまくいくと拍手してくれて本当に嬉しかったです。お友だちの顔によく似たバルーンをプレゼントしたらGOODポーズしてくれて優しさをいっぱいいただきました。おふざけばかりのクラウンで、びっくりされちゃうこともあります、これからも一緒に遊んでいただけたら嬉しいです。

いつもありがとうございます。

(ホスピタルクラウン メッター)

ぽぽんた通信（56）

きくちゃん

久しぶりに、夫と上大岡ボウリング場でゲームをした。50年イヤイヤ60年振りかもしれない。夫は上手でスペアも取れるし、ストライクもできるが、キクちゃんは不器用でガータばかり。

1 ゲーム目はトータル点数がキクちゃんは65点、夫は120点。2 ゲーム目も、同じくらい。でも、とても楽しかった。そこで昨日、又出かけた。今度はボールの重さもちゃんと見た。ガータも少なくなった。ボールはレーンをよたよたしながらピンまで行って、何と9本も倒した。だが、あと1本が難しい。周りを見ると、派手なTEEシャツで短パン姿の女性や男性が多く、それに年配者が多い。グループで競技しているようだ。隣のレーンに若い家族4人がきた。幼児さん2人連れだ。ガータの溝が塞がれ、幼児用のボール滑り台が用意された。スピードは出ないが、真っすぐボールが転がるのでスペアも取れて楽しそう。歓声をあげていた。思わずキクちゃんも拍手をした。年が明けたら又行こう。

今後の予定

2月6日ボランティア調整会議 3月3日研修会 3月7日ボランティア運営会議